



野田小学校 学校だより

# 南風の丘から

学校づくりのモットー  
明るく楽しく美しく  
校長 犬嶋博之

## 本年度最後の学期

元日の見事な日の出とともに、新しい年が始まりました(清々しかったですね。寅年の今年もどうぞよろしくお願いします)。三学期の主な行事は、次のとおりです。

### 〈1月〉

- 13日(木) 書き初め大会
- 41日(金) 書き初め展(二十一日まで)
- 24日(月) 給食週間(二十八日まで)

### 〈2月〉

- 1日(火) 新入学児童の保護者説明会
- 10日(木) およじの読み語り、なわとび大会、二年生学級部会 絵本クラブ総会
- 28日(月) 三年生授業参観・学年部会

### 〈3月〉

- 1日(火) 六年生授業参観・学級部会
- 2日(水) 一・二年生授業参観 学級部会
- 3日(木) 五年生授業参観・学級部会
- 4日(金) 六年生とのお別れ集会
- 四年生二分の一人式・学級部会

- 24日(木) 卒業証書授与式
- 17日(木) 修了式・離任式

### 〈令和4年度4月〉

- 6日(水) 着任式・始業式
- 8日(金) 入学式



## 三学期の過ごし方

三学期、子どもたちが学校に行く日数は  
一月：15日、二月：18日、三月：17日  
(ただし、六年生は卒業するので13日)で、  
合計すると次のとおりです。

- ・一～五年生：五〇日
- ・六年生：四六日



思っていた以上に少ない三学期ですが、本年度のまとめと次年度への準備をする大切な学期です。特に六年生は野田小での最後の学校生活になりますので、自分の成長を実感しながら、学習や児童会活動、当番活動などを、次のような心構えで過ごしてほしいと願っています。

### 二度とない一つひとつのことを 心に刻みながら一所懸命にやる。

掃除一つにしても、雑巾を握る手に心を込める。そのような精神的に充実した時間を刻んでほしいと願っています。

### 〈新型コロナウイルス(オミクロン株)対策〉

さて、三学期は感染対策も強化しなければなりません。体調確認や消毒などこれまで行ってきたことに加えて**換気を強化**します。寒くても空気の入替えをしますので重ね着などの衣服の対応をお願いします。詳しくは、裏面に

載せていますのでお目通しください。



教室が寒くなるので、ひざ掛けや座布団が使えるようになります。

〈コラム あかね雲〉

## 同じ気持ちで

学校だよりを書く時は、去年の今頃はどんな記事を書いていたかなと読み返すのが私の習慣となっています。一年前のコラムには、ウイルスの変異に不安を掻き立てられたり、世の中自体が変化したりする中で「風に立つライオンでありたい」と記していました。

「風に立つライオン」とは、御存知のとおり、さだまさしさんが、ケニアの現地医療に携わっていたらっしゃった柴田紘一郎さんの姿に感動して作られた歌です。その後、東日本大震災のエピソードを交えて映画化もされました。

今また、オミクロン株の猛威の前に、医療従事者や保健所、検疫の方々などが立ち向かってらっしゃいます。人の健康を守り、未来へ向かって元気に歩けるようにするという点では私たちも同じです。同じ気持ちをもって、この長い戦いに  
対峙していきたいと思えます。

### 風に立つライオンになる。

様々な課題を前に心を鼓舞する新学期です。



好評をいただいている(?)野田小のホームページは(と言ってもTwitterみたいなものですが...)

学校があるときは、「ほぼ毎日」更新中です。(担当の校長がいなくてを除く)

今年も子どもたちの「がんばり」や日々の様子などを載せていきますので、どうぞ御覧ください。

スマホ等からはこちらをどうぞ。



野田ホームページ  
QRコード



《心に響いた言葉》 「6年生としてしなければならないことがたくさんありますので、まわりを見て自分から行動したいと思います。」 宮崎さん(6年生)の「3学期にがんばりたいこと」から。



シリーズ「令和の日本型教育」とはなんぞや？  
〈第八回〉

## 「ICT※を活用した学び」について

※「ICT」…Information and Communication Technology (情報通信技術)



一人一台端末（パソコン）が、子どもたちに配布されて、一年を迎えようとしています。文科省資料には「パソコン等の情報通信機器を活用した学習を推進する基本的な考え方が、次のように示されています。」

- 子供の可能性を引き出し、協働的な学びを実現する。
- ICTを活用するに「主体が目的化しないよう留意する。」
- ICTが児童生徒に与える影響に留意する。（目の健康や生活リズムの乱れなど）
- Society5.0 時代「どう変わる」学校を実現させる。

（文科省資料から抜粋）

「この」で大事なことは、「今までのやり方じやダメなの？」「パソコンより「心」が大事だよ」というような 変化を避けたい気持ち（現状維持バイアス）と闘はれるものから、いかに抜け出すかという点です。「パソコンが手書きか」「機械か心か」というような「二項択一」ではなく「どちらも身につく教育活動を新たに創る」という改革が求められています。

そこで、具体的な取組として、次のことが示されています。

- ① ICTの日常的な活用による授業改善
  - ② 学習履歴（スタディ・ログ）など教育データを活用した個別最適な学びの充実
  - ③ 全国的な学力調査のCBT※化の検討
- ※「CBT」…Computer Based Testing (「コンピュータを利用して受験する試験方法」)
- ④ 教師の対面指導と遠隔授業等を融合した授業づくり
  - ⑤ 遠隔授業の活用
  - ⑥ デジタル教科書・教材の普及促進
  - ⑦ 児童の特性に応じたきめ細かな対応
  - ⑧ ICT人材の確保

（文科省資料から抜粋）

これらの方針をもとに、今、全国の学校（野田小も）でICT（パソコンなど）を活用した授業改革が進んでいます。

この記事を書きながら、県内のICTに関する教育関係者が集まった会議で聞いた一般企業（ネット上の教育情報関連）から来られた若い社員の言葉を思い出しました。

「パソコンは（幼い弟を見ていて思うのですが）子どもは放っておいても使いこなします。問題は大人（教師）の方だと思えます。」

パソコンの使い方について、「主体的な学習」が求められているのは、私たちです。



ふるさとの文化・歴史・人物——野田小教育の視点から

## 「海に沈む夕日」

左の写真は、本校の敷地から捉えた夕日です。先月のよく晴れた午後五時すぎに撮りました。

写真を撮った数日後、本校の先生方に「夕日が海に沈む様子を野田小の敷地から見たことがある人」を尋ねたところ、数人しかいませんでした。



きれいな夕日の色を見たい方は、ホームページ版を御覧ください。

こんなに美しい風景の中で子どもたちが生まれ育っていることを知るとは、彼らの心情を豊かに醸成したいと思う私たちにとって、とても大切なことだと思います。そして、大自然の美しさを知る者の教育は一味も二味も違うと信じる私は、働き方改革をもっと進めなければと、この夕日とともに心に刻みました。

## 【お知らせ】三学期の「コロナ対策」

「オミクロン株」拡大に備え、以下の対策をします。御理解と御協力をお願いします。

- 登校前の健康チェックや検温を徹底する。  
↓発熱や咳などがある場合は、登校を控えてください。  
↓自宅でも感染対策の徹底をお願いします。
- 校舎内での生活は、原則マスクを着用する。
- 授業と給食中は、パーティションを設置する。
- 各教室へ移動することに手指を消毒する。
- 遊具等をさわった後は手洗いをする。
- 授業中も換気のため、常時窓を開ける。  
↓防寒のために座布団やひざ掛けを使っていいことにはなりませんので、必要により持参させてください。